

## 本製品をお使いの方へ

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本紙では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいこと、および本製品に添付されておりますマニュアル「はじめにお読みください」「ハードウェアマニュアル」の記述に対する訂正・追記を記載しております。本紙をよくお読みになり、本製品を正しくお使いいただきますようお願いいたします。

### ■ マニュアル「はじめにお読みください」の記述に関する注意事項

本製品に添付されておりますマニュアル「はじめにお読みください」の記述に対する訂正及び追記がございますので、下記のとおり訂正および追記させていただきます。

#### 【P1】表紙「安全にお使いいただくために」について（訂正）

（Windows NT モデル添付の「はじめにお読みください」の場合のみ）

- （訂正前） 『オペレーションガイド』  
（訂正後） 『ハードウェアガイド』

#### 【P2】梱包物の確認「カスタムメイドオプション」について（追記）

□GIGAMO 追加機構

- GIGAMO ユニット（本体に搭載済）  
●取扱説明書

#### 【P4】クイック・リファレンス「BIOS を購入時の設定に戻すには」について（追記）

- [C460] の場合
- 「Advanced」—「Peripheral Configuration」—「Gameport」を「Disabled」にします。
  - 「Power」—「Power Management Mode」を「Disabled」にします。
  - 「Power」—「ACPI S3」を「Disabled」にします（Millennium G450 搭載時のみ）。

#### 【P6】本体仕様「CELSIUS460」について（訂正）

●CPU

- （訂正前） Pentium®4 1.4 / 1.5GHz  
（訂正後） Pentium®4 1.5 / 1.7GHz

●内蔵ハードディスク（Windows NT モデル添付の「はじめにお読みください」の場合）

- （訂正前） 30GB (Ultra DMA/66)  
（訂正後） 40GB (Ultra DMA/100)

●内蔵ハードディスク（Windows 2000 モデル添付の「はじめにお読みください」の場合）

- （訂正前） 30GB (Ultra DMA/100)  
（訂正後） 40GB (Ultra DMA/100)

### 【P7】ビデオカード仕様について（追記）

Millennium G450	VGA / SVGA 最大 2048 × 1536 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 32MB
CELSIUS Quadro2 MXR	VGA / SVGA 最大 1920 × 1200 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 32MB

### 【P8】拡張スロット使用状況について（追記）

表の Millennium G400 搭載モデルが含まれる欄に対して、以下を追記いたします。

- Millennium G450 搭載モデル
- CELSIUS Quadro2 MXR 搭載モデル

### ■マニュアル「ハードウェアガイド」の記述に関する注意事項

本製品に添付されておりますマニュアル「ハードウェアガイド」の記述に対する注意事項、訂正および追記がございますので、下記のとおり訂正および追記させていただきます。

なお、BIOS 設定に関する事項は **■ BIOS 設定値についての注意** にハードウェアガイドからの変更点と注意事項をまとめて記載しておりますので、そちらをご覧ください。

### 【P158】「システムボード」拡張スロット番号について（注意事項）

- システムボード「CELSIUS460」
- 筐体背部に拡張スロット番号が刻印されていますが、ハードウェアガイドに記載されている AGP / PCI スロット番号と異なりますので、ご注意ください。

### 【P166】「コネクタ仕様」について（追記）

- ディスプレイコネクタ

P166 Millennium G400 / Millennium G400DualHead / CELSIUS SynergyII / CELSIUS GL1 / GM1000 TNT2 M64 の項目に以下のグラフィックスカードを追記いたします。

#### Millennium G450

P168 CELSIUS GL2 の項目に以下のグラフィックカードを追加いたします。

#### CELSIUS Quadro2 MXR（但し、ステレオコネクタを除く）

### 【P176】「その他の注意事項」について（追記）

- 高性能無停電電源装置（Smart-UPS）のバッテリ

電源の投入／切断時間にかかるわらず約 2 年経過すると交換時期となります。周囲温度により、バッテリ寿命が短縮されることがあります。

詳細につきましては、高性能無停電電源装置の取扱説明書をご覧ください。

## ■ BIOS 設定値についての注意

本ワークステーションの BIOS 設定値について注意事項および変更点がございますので、下記のとおり変更、追記させていただきます。なお、その他の BIOS の設定内容につきましては「ハードウェアガイド」－「第3章 BIOS 設定」をご覧ください。

### 1. Power Management Mode（省電力機能）の設定（注意事項）

Power Management Mode は省電力機能を設定する項目です。

**※工場出荷時には、「Disabled」に設定されていますので、変更しないでください。**

本ワークステーションでは、BIOS 設定による省電力機能をサポートしておりません。省電力モードを「Disabled」以外に設定しますと、省電力機能において不具合を引き起こす場合があります。設定の確認方法については、本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」－「3章 BIOS 設定 Power」を参照してください。

また、BIOS 設定を「Get Default Values」で初期設定に戻した場合、「Power Management Mode」は工場出荷時の設定には戻りません。必ず、上記ハードウェアガイドを参照し、「Disabled」に設定してください。

### 2. System Management – FAN Control の設定（注意事項）

FAN Control はワークステーション内部に取り付けられたファンの回転速度の制御方法を設定する項目です。

**※工場出荷時には、「Auto」に設定されていますので、変更しないでください。**

本ワークステーションでは、「Auto」以外の設定をサポートしておりません。「Auto」以外に設定しますと、装置運用に最適な温度制御が働きません。

設定の確認方法については、本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」－「3章 BIOS 設定 System Management」を参照してください。

### 3. Peripheral Configuration – Gameport の設定（注意事項）

BIOS 設定を「Get Default Values」で初期設定に戻した場合、「Gameport」は工場出荷時の設定には戻りません。本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」－「3章 BIOS 設定 Peripheral Configuration」を参照し、「Disabled」に設定してください。

### 4. System Management サブメニュー（追記）

「Alert on LAN」設定の項目を削除しました。

設定は常時「有効」です。

### 5. Security メニュー（追記）

「Hard Disk Security」サブメニューの項目を追加しました。

Hard Disk にアクセスする際のパスワードを設定する項目です。

但し、本ワークステーションでは「Hard Disk Security」サブメニュー内の設定項目はサポートしておりません。

## 6. Power On/Off サブメニュー - Power On Source の設定 (網掛け部参照)

「Power On Source」の設定を追加しました。

「Power On Source」は、電源管理機能を OS 上で制御するか、BIOS 設定を優先するかを指定する項目です。ワークステーションを電源切断状態から、電源ボタン操作以外で起動させる場合には「Power On Source」を「Bios Controlled」に設定します。また、電源投入を可能にしたいデバイスを「Enabled」に設定します。各デバイスの設定方法については、本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」—「3章 BIOS 設定 Advanced」を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility		
Advanced		
Power On/Off		Item Specific Help
Power Off Source		
Software:	[Enabled]	
Keyboard:	[Disabled]	
Power Button:	[Enabled]	
Power On Source:	[Bios Controlled]	
Chipcard:	[Enabled]	
Remote:	[Enabled]	
LAN:	[Enabled]	
Timer:	[Enabled]	
LAN Wakeup Mode		
Monitor:	[On]	
Power Failure Recovery:	[Previous State]	
F1 Info ESC Exit	Select Item Select Menu	-/+ Enter Change Values Select Sub-Menu
		F9 Setup Defaults F7 Previous Values

## **■ Millennium G450 搭載モデルをお使いの方へ**

グラフィックスカードで Millennium G450 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

### **1. ディスプレイドライバの設定変更について**

本ワークステーションに添付されているドライバは「バスマスタリング」機能をサポートしておりません。出荷時状態では、「バスマスタリング」機能を有効にする設定となっておりますので、必ず「バスマスタリング」機能を無効にする設定に変更して下さい。

また、本変更を行わない場合は、ご使用のアプリケーションにより、画面の表示崩れなど、正しく表示できない場合があります。

設定変更方法につきましては、インストールされている OS タイプにより異なります。以下を参照して、必ず設定の変更を行って下さい。

#### **● Microsoft®WindowsNT®4.0 をご使用の場合の設定変更手順**

1. 「スタート」メニュー → 「設定」 → 「コントロールパネル」を選択
2. 「Matrox 表示プロパティ」をダブルクリック → 「パフォーマンス」タブを選択
3. 「バスマスタリングを行う」のチェックをはずす → 「OK」をクリック
4. システムの再起動が要求されますので、「はい」をクリックし再起動してください。

#### **● Microsoft®Windows®2000 をご使用の場合の設定変更手順**

1. 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択
2. 画面のプロパティの「設定」タブを選択
3. 「詳細」ボタン → 「オプション」タブを選択
4. パフォーマンス 「バスマスタリングを行う」のチェックをはずす
5. 「適用」をクリック
6. 画面のプロパティ 「閉じる」をクリック
7. システムの再起動が要求されますので、「はい」をクリックし再起動してください。

### **2. ACPI S3 (スタンバイモード) 設定について**

ACPI S3 は、BIOS 設定でスタンバイモードを設定する項目です。

**※Millennium G450 搭載モデルの工場出荷時の BIOS 設定では、ACPI S3 「Disabled」に設定されていますので、変更しないでください。**

Millennium G450 搭載モデルでは、S3 スタンバイモードをサポートしておりません。本項目を「Enabled」へ設定しますと、スタンバイモードから復帰できない場合があります。**必ず「Disabled」でご使用ください。** 設定の確認方法については、本ワークステーション添付の「ハードウェアガイド」 - 「3 章 BIOS 設定 Power」を参照してください。

また、BIOS 設定を「Get Default Values」で初期設定に戻した場合、「ACPI S3」は工場出荷時の設定には戻りません。上記「ハードウェアガイド」及び「本製品をお使いの方へ」の記載内容と合わせて、必ず、本設定を「Disabled」に設定してください。

## **■ CELSIUS Quadro2 MXR 搭載モデルをお使いの方へ**

グラフィックスカードでカスタムメイドの CELSIUS Quadro2 MXR 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

### **ディスプレイドライバの設定変更について**

Quadro2 MXR 搭載モデルで Microsoft Windows 2000 をお使いの場合、出荷時状態では「バッファフリップモード」の設定が「自動選択」になっています。この設定で使用すると、次のような問題が発生する場合があります。

- ・**実行中のアプリケーションを強制終了すると画面表示がくずれる。**

「バッファフリップモード」の設定を「ブロック転送を使用」とすることでこの問題を回避することができます。以下に示すように、ディスプレイドライバの設定を変更してお使いください。

(なお、設定変更によるパフォーマンスの低下はありません。)

### **設定変更手順 :**

1. 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択
2. 画面のプロパティが開きますので、「設定」タブを選択
3. 「詳細」ボタンをクリック
4. 「(規定のモニタ) と Quadro2 MXR プロパティ」が開きますので、「Quadro2 MXR」タブを選択
5. 「詳細プロパティ」ボタンをクリック
6. 「詳細 Quadro2 MXR プロパティ」が開きますので、「OpenGL 設定」タブを選択
7. 「**バッファフリップモード**」のデフォルト設定が「自動選択」になっています  
ので、プルダウンメニューを開いて「ブロック転送を使用」を選択
8. 「OK」ボタンをクリック
9. 「画面のプロパティ」ボタンをクリック
10. システムを再起動してください

## **■CELSIUS GL2 搭載モデルをお使いの方へ**

グラフィックスカードのカスタムメイドで CELSIUS GL2 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

### **1. システムフォントについて**

CELSIUS GL2 搭載モデルでは、システムフォントを「大きいフォント」に変更しますとWindows内のメッセージが正しく表示されない場合があります。

システムフォントの設定方法は、以下を参照してください。

**Windows NT** : 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択 →  
「画面のプロパティ」 → 「ディスプレイの設定」タブを選択 →  
「フォントサイズ」の指定

**Windows 2000** : 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択 →  
「画面のプロパティ」 → 「設定」タブを選択 →  
「詳細」ボタン →  
「DIAMOND Fire GL2 Video Accelerator のプロパティ」 →  
「フォントサイズ」の指定

### **2. マウスカーソルの影について**

CELSIUS GL2 搭載モデルで Windows2000 をお使いの場合、「Print Screen」ボタンを押した時に、マウスカーソルの陰影が黒くつぶれることができます。この現象による動作上の問題はありません。

マウスを右クリックすると、カーソルの影は元に戻ります。